

平成 28 年熊本地震住民地震セミナー報告書

8 月 17 日熊本県阿蘇市で開催されました住民地震セミナーについて概要を報告します。

日時： 8 月 17 日（水） セミナー 午後 1 時から午後 5 時まで

親子地震教室 午前 10 時から 11 時半まで

場所： 阿蘇市農村環境改善センター 農事研修室(親子教室はピロティで実施)

〒 869-2301 熊本県阿蘇市内牧 9 7 6 - 2

主催： 公益社団法人 日本地震学会

特定非営利活動法人 日本ジオパークネットワーク

阿蘇ジオパーク推進協議会

共催： 日本活断層学会

後援 内閣府（防災担当）、文部科学省、気象庁

参加者： 109 名（うち、午前：23 名、午後：86 名）関係者を含めて約 150 名

親子地震教室： 午前 10 時から 11 時半（23 名）

地震について、専門家に何でも聞いてみよう。

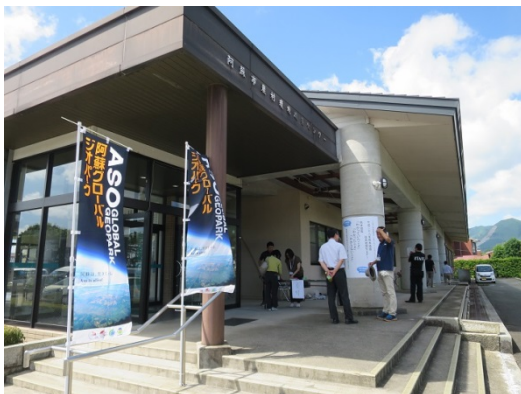
身近な材料を使った実験で、地球の仕組みを知ろう

実施担当者

日本地震学会地震火山こどもサマースクール運営委員 中島健、前田哲良

日本地震学会広報委員長 千葉大学大学院理学研究科 津村紀子

桜島・錦江湾ジオパーク 学術推進員 吉川美由紀



会場入り口



断層の実験



地震計の実験



震源地 3D 模型作り

住民セミナー：午後 1 時から午後 5 時まで（86 名）

第 1 部 午後 1 時から 3 時 20 分

熊本地震 分かっていたこと、分かったこと、まだ分かっていないこと

説明者

山岡耕春 地震学会会長・名古屋大学環境学研究科附属地震火山研究センター

清水 洋 地震学会代議員・九州大学理学研究院附属地震火山観測研究センター長

（文部科学省「2016 年熊本地震と関連する活動に関する総合調査」研究代表者）

熊原康博 日本活断層学会理事・広島大准教授（地理学）

大倉敬宏 阿蘇ジオパーク推進委員会・京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設
火山研究センター（文科省科研・研究分担者）

第 2 部 午後 3 時半から午後 5 時

熊本地震についての疑問・質問コーナー

答える人

山岡耕春、清水洋、熊原康博、大倉敬宏

池辺伸一郎 （公財）阿蘇火山博物館館長（熊本大学客員教授）

横山博文 地震学会会員・福岡管区気象台ほか、地震学会関係者



開会に際し今回の地震の犠牲者に黙とう



阿蘇市長 開会のあいさつ



講演の様子（1）



講演の様子（2）



疑問・質問コーナーの様子（1）



疑問・質問コーナーの様子（2）



会場からの質問の様子



閉会の挨拶 杉本

感想：

今回のセミナーは、平成 28 年 4 月 18 日の理事会で決定されました「平成 28 年（2016 年）熊本地震に係る JGN の対応」にあります、第二次対応の「被災地域住民等への現状及び今後の見通しに関する情報提供」の項目に基づきまして開催致されました。

このセミナーの特徴としては、この地震で「分かっていたこと」「分かったこと」「まだ

分からないこと」についての説明があり、その後住民の皆さんの質問疑問に、地震の専門家が、分かる限り、直接答えるところでありました。住民の皆様からは「断層とゆれ、震源の深さ、観測機器、中央構造線、地震とカルデラ噴火の関係」など多くの質問が出て、活発な意見が交わされました。

今回のセミナーには九州ブロックの各ジオパークからもスタッフ及び参加者として協力ご支援を頂きました。また、九州内のジオパークにおいては、ジオツアーなどの計画もあるようですので、今後は、被災地と調整を図りながら、第三次対応の項目である、ジオツアーなどによる被災地域の振興などの支援活動も必要かと思えます。

以上報告いたします。

平成 28 年 8 月 22 日

日本ジオパークネットワーク

事務局次長 杉本伸一（防災担当）